

科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	24Y311	担当者	三原 ミヨ子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	大学病院で看護師として、看護師養成所において看護教員の勤務経験あり。現場での経験を交えながら、保育現場で必要な医療的知識について講義を行う。								科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学ぶ	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	小テストは返却し、解説・質疑応答の時間を設ける
授業の方法	パワーポイント、参考資料を配布し教科書に沿って授業を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	グループディスカッション、調べ学習を取り入れる。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション、子どもの健康と保育の環境	事前：教科書1～15ページを読む 事後：子どもの健康について理解し、大人との違いについてまとめる	
第2回	施設の衛生管理・衛生環境、危機管理と災害への備え	事前：教科書23～27、33～39ページを読む 事後：施設における危機管理について自らの考えをまとめる	
第3回	事故防止及び安全対策	事前：教科書28～32ページを読む 事後：園で起こりうる事故について復習し、事故予防としてできることを考える	
第4回	感染症の予防と対策、体調不良や傷害が発生した場合の対応	体調不良や傷害が発生した場合の対応について振り返る。救急処置、心肺蘇生法について予習する	
第5回	小テスト、救急処置及び心肺蘇生法	事前：教科書50～65、73～83ページを読む 事後：体調不良や傷害に対して正しい対応ができるよう復習し修得する	
第6回	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応	事前：教科書107～116ページを読む 事後：個別的な配慮について理解し、保育を行う上で必要な関わりについてまとめる	
第7回	保育における保健活動について	事前：教科書131～142ページを読む 事後：保育における保健活動について復習し、保健指導の方法について考える	
第8回	年間保健計画の立案と評価、講義の振り返り	保健だよりの作成、これまでの講義を振り返る	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全演習ノート/小林美由紀/診断と治療社	受講生へのメッセージ	現代社会において、保育園や幼稚園での事件、事故が続いています。保育者として子どもの尊い命を守ること、安全を確保した対応は重要な役割です。学習を深め、正しい知識と適切な対応の習得を目指しましょう。 7.5回の講義になります。1回目はAB合同、2回目以降はAB交互に行います。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

